

セーフコミュニティの 誕生と歩み

A SAFE COMMUNITY

日本セーフコミュニティ推進機構

代表理事 白石 陽子

博士（政策科学）



Japan Institution for Safe Communities

「セーフコミュニティ」とは

7 指標に基づいた
安全向上のための地域ぐるみの取組

認証

世界ネットワーク
のメンバー
(2016年4月30日)

372



Japan Institution for Safe Communities

SCの7指標と「3つのポイント」

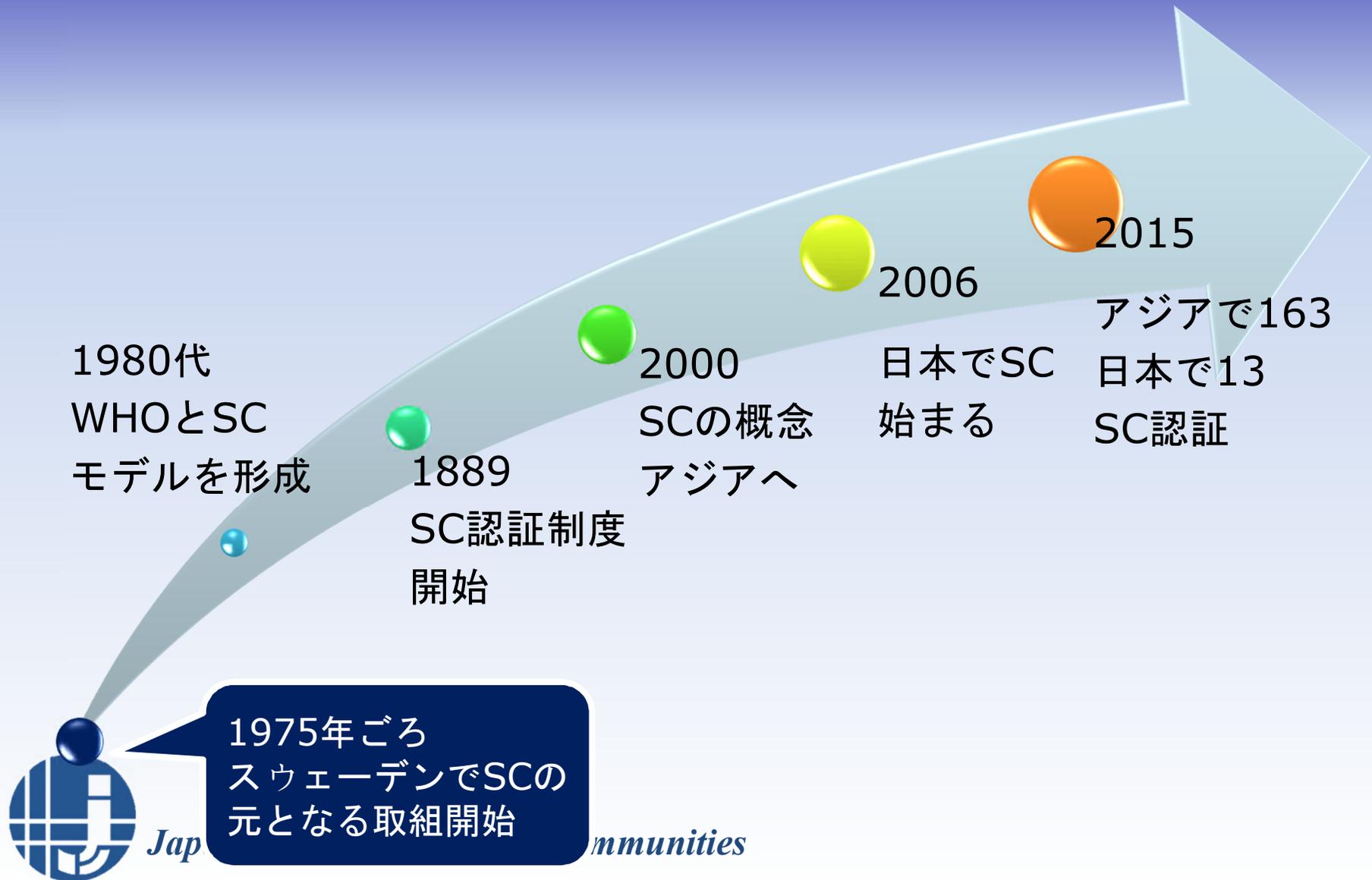
1. 分野横断的な協働
2. 全ての市民・市域・環境・状況を対象に
長期的・継続的に取り組む
3. リスクの高い集団・環境への取り組み
4. 根拠に基づいた取り組み
5. 外傷の頻度と原因を記録する仕組み
6. 内容・行程・効果を評価する仕組み
7. 国内外のネットワークへの継続的参加

協働の体制

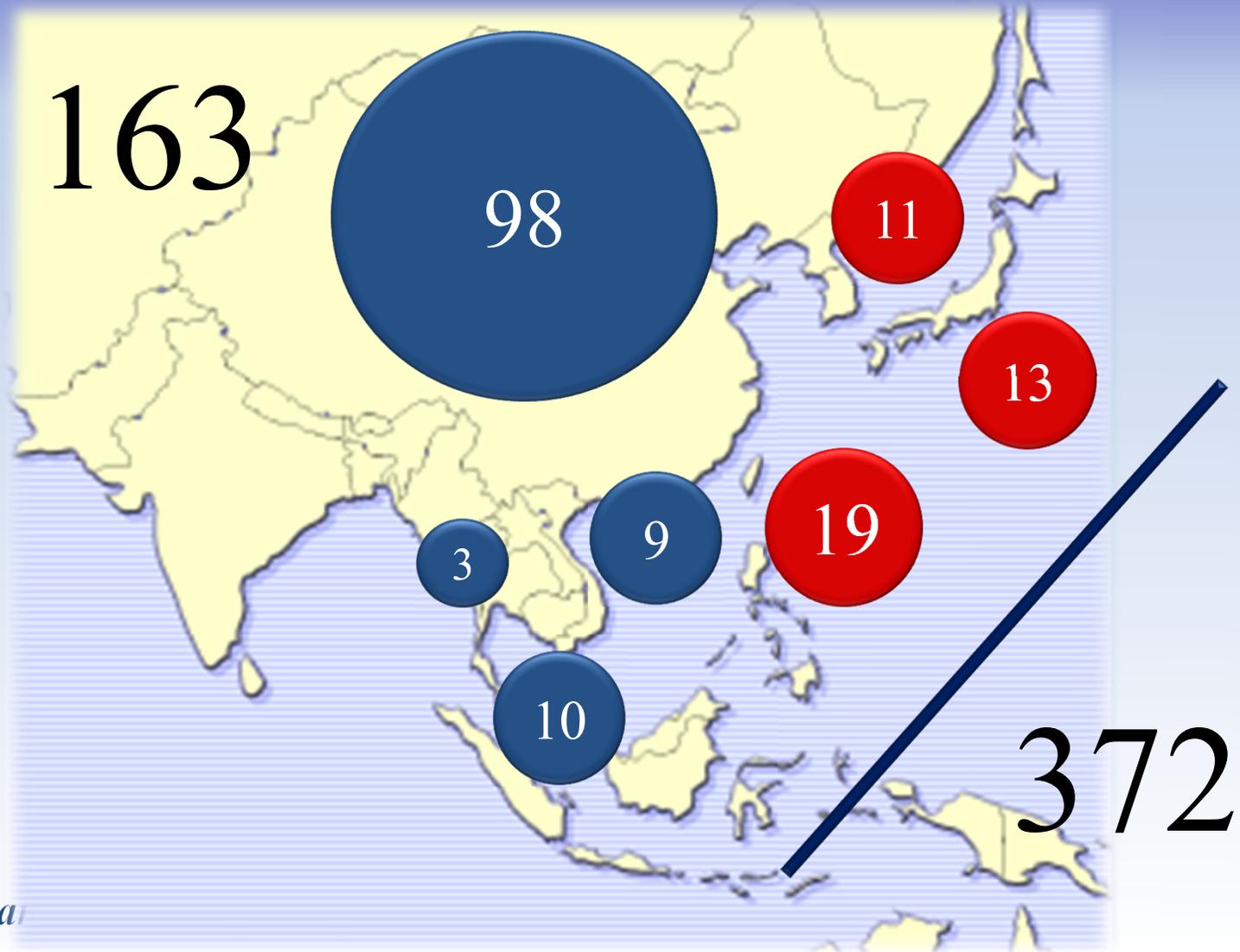
体系的な
仕組み

地域の
実践力

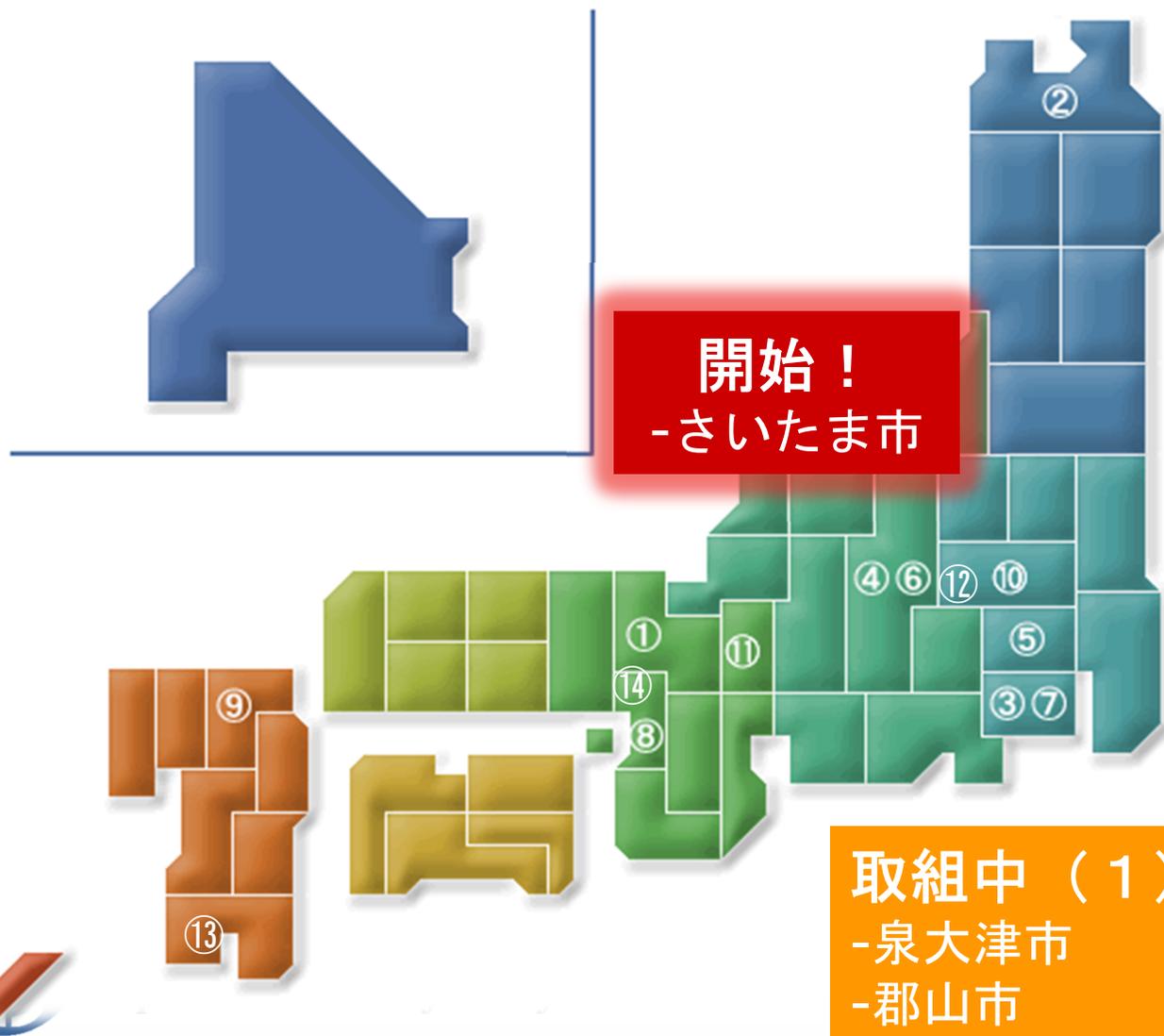
セーフコミュニティの誕生と経緯



SCが広がるアジア地域



日本のセーゴコミュニティ



認証(13)

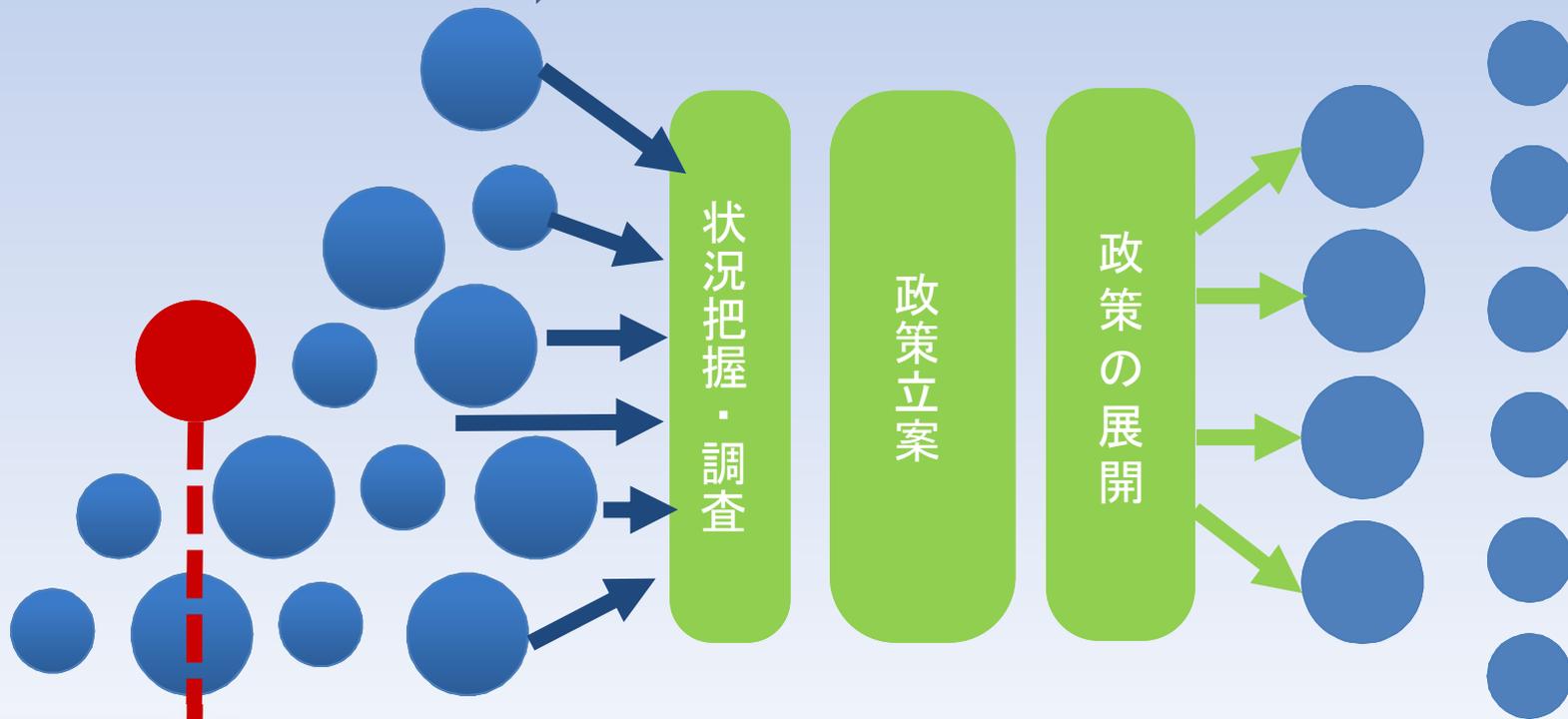
- 亀岡市(2)
- 十和田市(2)
- 厚木市(2)
- 箕輪町
- 豊島区
- 小諸市
- 横浜市栄区
- 松原市
- 久留米市
- 北本市
- 秩父市
- 甲賀市
- 鹿児島市

取組中(1)

- 泉大津市
- 郡山市

将来の課題に備えるまちづくり

地域 → 市町村 → 都道府県 → 国 → 都道府県 → ・ ・ 地域



診断 → 取組み → 振り返り → (改善) → 展開



Institution for Safe Communities

道具としてのセーフコミュニティ

釣った魚を与えても
問題解決にはならないのです。

セーフコミュニティ活動は、
「釣り方」を習得する
プロセスです



地域力の向上



Japan Institution for Safe Communities



家族・友達の安全を願う気持ちを セーフコミュニティで行動に



Japan Institute for Safety